

経済産業省 同時発表

平成28年12月8日

総合政策局物流政策課

平成28年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰の受賞者決定について

平成28年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰について、国土交通大臣表彰1件、国土交通省物流審議官表彰1件、グリーン物流パートナーシップ会議特別賞2件の表彰を決定いたしましたのでお知らせいたします。

国土交通省では、物流分野における環境負荷の低減や物流生産性革命の推進の観点から特に顕著な功績のあった事業者に対し、大臣表彰1件、他3件を授与することを決定いたしました。

受賞事業者には、12月14日(水)に開催の「グリーン物流パートナーシップ会議」において表彰を行うとともに、取組内容の発表を行っていただく予定です。参加をご希望の方は下記をご参照の上お申し込み下さい。

1. 受賞者

・国土交通大臣表彰

「持続可能な食品物流のプラットフォームの構築と運営」

味の素株式会社 他9社

・国土交通省物流審議官表彰

「長距離高速バスを利用した貨客混載輸送の取組」

株式会社ジェイアール東日本物流 他2社

・グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

① 「IoTによるトラック待機時間短縮と31ft 鉄道コンテナを活用した物流効率化の取組」

神戸モーダルシフト推進協議会 他5社

② 「泡盛の沖縄県外への出荷物流の共同化の取組」 株式会社ダイワコーポレーション 他1社

※受賞者の一覧及び受賞事業の詳細は別紙のとおり。

※経済産業省の表彰案件は、下記の URL に掲載しております。

<http://www.meti.go.jp/press/2016/12/20161208002/20161208002.html>

2. 第15回グリーン物流パートナーシップ会議(表彰式)開催概要

【開催日時】平成28年12月14日(水)14:00~16:30 (開場13:30)

【会場】日経カンファレンスルーム(日経ビル 6階)(東京都千代田区大手町1-3-7)

※第15回グリーン物流パートナーシップ会議の開催案内、参加申込、会員登録方法のほか、会議に関する情報は、右記のHPに掲載しております。<http://www.greenpartnership.jp/>

問い合わせ先:国土交通省総合政策局物流政策課

伊東、富田、堀(内線:53-315、25-402、53-334)

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8799

FAX 03-5253-1559

(別紙)

○経済産業大臣表彰

<受賞者名>

イオングローバルSCM株式会社、花王株式会社、向島運送株式会社、福山通運株式会社

<功績概要>

これまで自社内で実施していたトレーラー中継輸送を、異業種の荷主が連携し実施することで以下の効果を実現。

- ①両社の物流網を活かした効率輸送によるコスト改善とCO2削減
- ②長距離トラックドライバーの業務環境改善
- ③輸送時のロードファクター改善
- ④業務時間帯の見直し、再編成による定時運航、待機時間の低減

○経済産業省商務流通保安審議官表彰

<受賞者名>

株式会社パスコ、TOTO株式会社、中越運送株式会社

<功績概要>

荷主であるTOTOとその物流事業者への情報化ツール導入による業務効率化を図り、共通KPI設定によるCO2排出量削減、走行距離短縮・配車計画作業軽減による労働力生産性向上による業務改善の活性化を推進。

○グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

<受賞者名>

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会、日本通運株式会社、リコーロジスティクス株式会社

<功績概要>

顧客先で使用された各メーカーの複写機/複合機、デジタル印刷機の回収拠点を集約し、共同輸配送を図ることでCO2排出量の削減、機器の高い再資源化率の維持を可能とする。

H28年度グリーン物流パートナーシップ会議優良事業者表彰一覧(国交省)

国土交通大臣表彰

持続可能な食品物流の実現を目指した食品企業物流プラットフォームの構築と運営 (F-LINEプロジェクト)

受賞者

味の素(株)、カゴメ(株)、日清オイリオグループ(株)、日清フーズ(株)、ハウス食品グループ本社(株)、(株)Mizkan、味の素物流(株)、全国通運(株)、日本貨物鉄道(株)、日本通運(株)

食品メーカー6社の共同による、**モーダルシフト、共同輸配送等の「ハード面」での改善**及び製造・配送・販売の流通過程での**食品業界の仕組みやルールの標準化等「ソフト面」での改善**を通し、CO2排出量削減、省労働力化を実現。

トレーラーに混載しパレットで輸送



CO₂削減量 216.0 t-CO₂/年、CO₂削減率 19.1%

国土交通省物流審議官表彰

長距離高速バスを利用した貨客混載輸送の取組

受賞者

(株)ジェイアール東日本物流、ジェイアールバス東北(株)、東北鉄道運輸(株)

長距離高速バスと首都圏駅ナカ等のコンビニへの仕分け・配送を担う**倉庫・配送センターを組み合わせる**ことにより、複数の商品を必要な分だけ定期的に首都圏の各店舗へ安価に納品できる物流の仕組みを構築。



CO₂削減量 91.7 t-CO₂/年、CO₂削減率 94.5%

グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

IoTによるトラック待機時間短縮と31ft鉄道コンテナを活用した物流効率化の取組

受賞者

神戸モーダルシフト推進協議会、ネスレ日本(株)、全国通運(株)、日本貨物鉄道(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、(株)ジェナ

配送業者、倉庫業者と連携するための**IoTシステムの導入**により、トラック待ち時間の削減を実現。また、**31ftコンテナの導入**による**配送効率向上**や**オペレーションの効率化**により、モーダルシフト輸送の経済優位性を実現。



CO₂削減量 207.4 t-CO₂/年、CO₂削減率 63.9%

泡盛の沖縄県外への出荷物流の共同化の取組

受賞者

(株)ダイワコーポレーション、沖縄県酒造組合

出荷輸送の共同化、共同物流センター(東京)の設置等、**沖縄県酒造組合の加盟メーカーの物流共同化**により、CO2排出量の削減や物流の効率化、**リードタイム短縮**といった物流サービスの高度化を実現。



CO₂削減量 6.6 t-CO₂/年、CO₂削減率 27.5%